

[城門] 防備よりも格調を 江戸城から皇居へ 御三卿の門



↑ 田安門

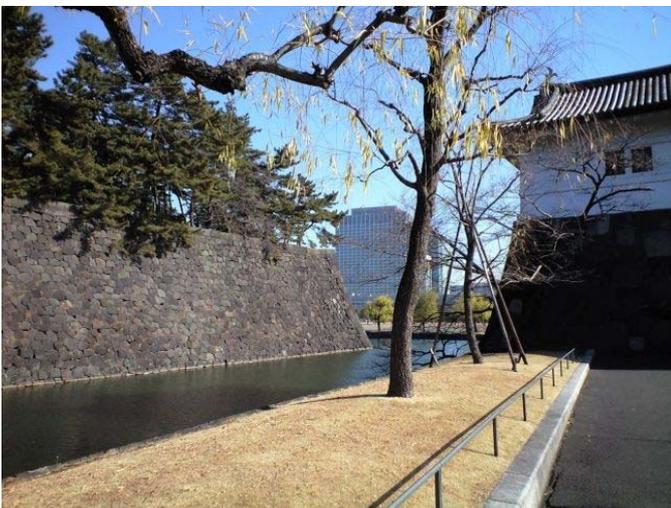
九段からの北の丸公園入口にある。ここを潜ると日本武道館に至る。不思議なもので武道館はその名の通りの造りなのだが、観客席の収容力が大きいので、芸能人のイベントやコンサートに引っ張りだこだ。ここで演じられると大スターだとの証明になる。およそ城門にはふさわしくない服装の若者が手を繋いで門を歩いていく様子は、日本は平和だなあとの象徴にも見える。



↑ 清水門

門の中の石垣も手入れが不十分で、人目につかないと経費も掛けないのが残念。門の構えも小ぶりで、これでも10万石かと思ってしまう。

徳川幕府の崩壊による城明け渡しで、江戸城は將軍家から天皇家に持ち主が変わった。そこで皇室はここに引っ越すことにした。しかし、遷都と言うと京童が騒ぐだろうと恐れた帝は「ちょっと行ってくる」と言って江戸に来た。京の都から東にあるので東京となったのだが、すぐ帰ってくると言ったきりいまだに帰っていない。明治政府はその代償に平安神宮を作って京都市民を慰撫し「時代祭り」を京の三大祭りにした。しかし無血開城のおかげで城は生き残り(天守閣は3代將軍のときの火災で焼失したままだが)、江戸の町も生き残った。震災や戦災を超えて伝統が引き継がれていることは文化の証しである。



↑ 皇居内堀の石垣。石積みの勾配が美しい。右は桜田門